

2026年4月5日 (日)

日本基督教団 大宮教会

大宮教会ビジョン

「すべての人を喜びあふれる神の家族へ」  
- 聖書の御言葉に生きる共同体を造り上げる -  
(マタイによる福音書 28 : 19~20)

# 復活節第1主日

イースター

朝第1礼拝 9:00~10:10

朝第2礼拝 10:30~12:00

<神の招き>

前奏 ① キリストは死にたまいしが甦り パッサ  
② キリストは甦りたまえり パッサ

招きの詞 ヨハネによる福音書 11:25~26

交読詩編 114 : 1~8

讚美歌 21

<神の言葉>

聖書 詩編 30 : 2~6  
(旧約 聖書協会共同訳 844 頁)  
ヨハネによる福音書 20 : 1~18  
(新約 聖書協会共同訳 204 頁)

祈禱 美歌 ① 3 2 6  
奉唱 ② 3 3 1  
信仰告白 ② 日本基督教団信仰告白  
洗礼式 ②  
讚美歌 ② 6 7  
説教 「主の復活から始めよう」  
熊江秀一牧師

祈禱 美歌 3 2 5  
聖餐 讚美歌 8 1

<神への応答>

信仰告白 ① 日本基督教団信仰告白  
献金  
主の祈り  
宣教報告 ②  
頌栄 2 9  
派遣と祝福  
後奏 ① 輝きのこの日 パッサ  
② キリストは死の絆につき給いしが パッサ  
宣教報告 ①

夕礼拝 18:00~19:10

<神の招き>

前奏 キリストはよみがえりぬ フィッシャー  
招きの詞 ヨハネによる福音書 11:25~26

交読詩編 114 : 1~8

讚美歌 15

<神の言葉>

聖書 詩編 16 : 7~11  
(旧約 聖書協会共同訳 831 頁)  
ローマの信徒への手紙 6 : 1~11  
(新約 聖書協会共同訳 275 頁)

祈禱 美歌 3 3 3  
説教 「新しい命に生きる」 佐藤潤伝道師  
祈禱  
黙想  
讚美歌 4 5 2  
聖餐 熊江秀一牧師  
讚美歌 8 1

<神への応答>

信仰告白 日本基督教団信仰告白  
献金  
主の祈り  
宣教報告  
頌栄 2 5  
派遣と祝福  
後奏 輝きのこの日 ヴァルター

## 今週の御言葉

週の初めの日、朝早く、まだ暗いうちに、マグダラのマリアは墓に行った。そして、墓から石が取りのけてあるのを見た。

(ヨハネによる福音書 20 : 1)

## 次週の礼拝 (4月12日)

① 9:00、② 10:30  
説教 「あなたがたに平和があるように」  
熊江秀一牧師  
創世記 2 : 4b~8、  
ヨハネによる福音書 20 : 19~23  
交読詩編 145 : 1~13  
讚美歌 37、50、323、29

☒ 18:00  
説教 「み言葉への信頼」  
佐藤潤伝道師  
イザヤ書 55 : 8~11、  
ルカによる福音書 7 : 1~10  
交読詩編 145 : 1~13  
讚美歌 57、325、458、25

■今週の祈禱課題■ 独り祈る時、共に祈る時にお覚えください。

1. キリストの体なる教会が豊かに形成される為に
2. 東日本大震災と能登半島地震の被災者の為に
3. 主の復活の恵みに感謝して
4. 新年度の宣教の為に
5. 教会学校の新年度の為に
6. 新しい歩みを始める兄姉の為に
7. 関連幼稚園（大宮・植竹・白百合）の入園式・始業式の為に
8. イスラエルとパレスチナ、ウクライナ、イラン、世界の平和の為に
9. 病気の兄姉の為に

\*関東教区お祈りカレンダー GMIM 大洗サレ教会 GMIM 新大洗ベルム教会 GMIM 小山エルリア教会

◇先週の説教より「この人を見よ」ヨハネによる福音書18章38節b～19章7節、イザヤ書53章1～12節 熊江秀一牧師

ローマ総督ピラトは一人の人を示し「見よ、この人だ」（ラテン語「エッケ・ホモ」）と言った。この人とは主イエスである。

ピラトの裁判によるイエスに対する結論は「私はあの男に何の罪を見いだせない」であった。それで過越祭の慣例によって主イエスを釈放することをユダヤ人たちに提案した。しかし彼らが釈放を求めたのは強盗バラバであった。ユダヤ人たちは愛と信仰に生きた主イエスよりも暴力に生きた強盗の方を選んだのである。これは私たちの姿であり、決して他人事ではない。

ピラトは驚き、主イエスを捕らえ、鞭で打たせた。さらに兵士は茨の冠を主イエスの頭に載せ、紫の服をまとわせ、「ユダヤ人の王、万歳」と侮辱し平手で打った。ピラトはそうすることで、こんな惨めで無力な男が「ユダヤ人の王」であるはずがないと、イエスの無罪を示そうとした。

そしてピラトはイエスを人々に引き出し告げる。「見よ、この人だ」。

しかしピラトの思いとは裏腹に祭司長たちは「十字架につけろ」と叫び続けた。「この人を見よ」。私たちは茨の冠をかぶり、鞭打たれ、十字架にかけられるイエスの姿に何を見るのか。

私たちはこのイエスに見る。神が私たちに与えた苦難の僕を。その方によって成し遂げられる神の愛と救いを。それはイザヤ書53章で預言された。

イザヤは告げる。弱々しく、人々に見捨てられ、病と痛みに苦しむ苦難の僕である主の僕の姿を。この主の僕の苦難によって、その死と執り成しによって、私たちはいやされ、平和が与えられたことを。

讃美歌280番にもこの主のお姿が「この人を見よ」と歌われる。

私たちも十字架の主イエスを見つめ、神のこよなき愛を、神の救いを見て、受難週を歩み、イースターを祝おう。

\*礼拝中、起立がご無理な方は、着席のままどうぞ。\*①は祈禱当番の方。\*①は朝第1礼拝、②は朝第2礼拝、☒は夕礼拝。